

## 【情報公開文書】

2022年3月14日作成

Ver.2.1

研究課題名	レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査
所属（診療科等）	長崎大学病院 脳神経外科
研究責任者	出雲 剛
研究機関	<p>《研究代表機関》 国立循環器病研究センター 病院長：飯原 弘二</p> <p>《共同研究機関》 長崎大学病院 脳神経外科：出雲 剛 その他、全国の医療機関で実施しています。</p> <p>詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p>
研究期間	2020年5月19日～2026年3月31日
研究目的と意義	<p>超高齢社会の本邦において、後遺障害による寝たきりの原因となる脳卒中の救急治療は大きな課題となっています。高齢者医療費の最大の原因である脳卒中の患者数は今後も更に増加し、2020年には300万人に達すると予想されています。緊急性の高い脳卒中治療については、医療機関の集約化、広域化と連携強化が重要となりますが、地域特性に応じた整備の為には、全国的な規模での地域毎の実態を調査することが必要です。</p> <p>本研究では本邦の脳卒中、脳神経外科医療施設の施設情報と、診療の質的評価・治療成績・予後との関連を調査し、その適正な配置について提言を行うことが目的です。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2010年4月1日～2025年3月31日(予定)の間に全国の脳卒中、脳神経外科医療を診療している施設において、脳卒中と脳神経外科疾患で治療した患者さんを対象としています。</p> <p>●利用する情報 DPCデータの中から、脳卒中や脳神経外科分野で受療した患者さんを選びます。そして、患者さんの疾患名、治療内容、治療成績などについての情報を得ます。そしてそれらの情報と、施設の情報（ベッド数、医師数、施設の場所など）の関連性を調べます。</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 研究組織で策定した臨床指標を用いて、測定結果と取得した情報の関係性を分析し、脳卒中のアウトカムに対する影響等を明らかにします。</p>

	<p>この研究において得られたあなたの診療情報等は原則として個人が特定できない状態にして、この研究のために九州大学病院脳神経外科へ提供します。研究終了後は、九州大学大学院医学研究院脳神経外科学分野並びに国立循環器病研究センターの研究事務局において研究代表者 飯原 弘二の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：出雲 剛（医師） 長崎大学病院 脳神経外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7375 FAX 095（819）7378 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>